



静岡県立沼津商業高等学校同窓会
〒411-0917
静岡県駿東郡清水町徳倉1205
TEL 055-932-5747 (FAX共用)

同窓会会長退任御礼



前会長

宇佐美文男

(高一五回)

早いものです。平成二四年に会長を拝命してから、もう六年たちました。この四月に退任致しました。改めて自分が同窓会の為に役にたったのかと自問自答の毎日です。同窓会は親睦が目的です。集まれば沼商時代の思い出・エピソードに花が咲きます。その舞台は母校です。仕掛け人は同窓会です。ならばその母校の為何が出来るか、そこに学ぶものに何がしてあげられるのかと、何時も考えてきました。規約の改正、活動の拡大・変更等しました。総会を一月から七月に変更し、これにより毎年三月締めめの活動報告がタイムリーに報告出来るようになりました。助成金制度を各部活 O B 会・同期会等にも拡大しました。通称「阿部基金」は国際化時代に適応できる人材の育成をと、在校生の海外研

修事業に変えました。研修先の台湾からは表敬訪問を受けたり、国際交流の場が出来ました。

歌人「明石海人」を在校生卒業生に知って貰いたいと、全校生徒を対象とした「明石海人短歌コンクール」を主宰し、更に新一年生を対象とした「明石海人を知って貰うための講演会」を開始し六年目になります。

育英事業では、県下公立高校として最高の支援金を支出して来ましたが、これに加えて部活動支援金制度も発足、一層重厚になりました。誰もが母校には何時までも輝き続けて貰いたい筈です。今後とも同窓会にご支援お願い申し上げます。結びに当たりまして長年支えてくださいました皆様に心より御礼申し上げます。 合掌

沼津商業高校に赴任して

事務長 渡邊広志

早いもので赴任してから一年が経ちました。事務長としては、沼津視覚特別支援学校、沼津城北高

校に次ぐ三校目の勤務となります。まだまだ若輩者の私ですが、やる気だけは誰にも負けない覚悟でございますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

さて、昨年三月に沼津商業高校異動の内示をいただきました。その際真っ先に頭に浮かんだことが、過去にお世話になりました沼津商業高校 O B の上司二名でした。

I 事務長は沼津工業高校勤務時の上司で、一年間お世話になりました。お酒が大好きで、酔いが進むと必ず新採時代の話になります。当時は計算にそろばんを使用していた時代で、三桁の足し算を I 事務長が暗算で処理していたところ、先輩から「何、デタラメを書いてる」と言われ、「僕は沼津だから三桁くらいは暗算で出来ます。」と先輩に言っつてやった、とにやつと笑みを浮かべて話す。強面の顔が一瞬かわいく見える、そんな I 事務長の顔が、今でも忘れられない。

M 次長は東部教育事務所勤務時の上司で、一年間お世話になりました。当時五十歳を過ぎていたと思うが、職場の厚生事業でソフトボールをするほどのスポーツマンでした。ある人と飲んだ席でそのことを話すと、「M 次長は、沼商のラグビーで全国大会に出場しているよ。」と言われビックリ。早速 M

次長にそのことを話すと「そんな昔のことはいいんだよ。」と言って教えてくれませんでした。その後何度となく聞きました。結局教えてくれませんでした。だからなのか、とても印象深い思い出です。

最後になりましたが、同窓会の皆様方には日頃より格別なるご支援とご協力をいただき、ありがとうございます。引き続き、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

未来へつなげ！ 伝統の絆



屋代 操

(高二七回)

第六四回同窓会総会が、七月二日沼津キャッスルにおいて、ご来賓をはじめ学校関係者を含め、約二〇〇名の参加をいただき盛大に開催できました事を、幹事を代表して心より御礼申し上げます。

毎年六十歳の還暦を迎えた年に同窓会の当番幹事学年に成る事は聞いておりました。当初は仕事の関係もあり協力できるか迷いましたが、宇佐美同窓会会長様より、一生に一度しか回ってこない役だからとお聞きし、引き受ける事にいたしました。

さて、私達第六四回同窓会のスローガンは、創立一八八年の伝統

を引き継ぎ、終る事なく未来につなげるようにとの思いから、「未来へつなげ！伝統の絆」としました。前年の幹事より引き継ぎを受けて、同窓会本部の皆様より助言をいただきました。当初八名で活動をしたのは、高校卒業後、四二年間はとんど面識がなかった同級生に、できる限り連絡し、協力をお願いする事でした。懐かしさで話した弾みましたが、なかなか協力してもらえなかった事は残念でした。それでも数人から始まった当番幹事の活動でしたが、協力してくれる同級生の仲間も徐々に増え、久しぶりの再会で当時の思い出や近況話など、楽しく活動ができました。

又、当日の講師について、どなたにお願いするか活発な意見を出し合い、数人の候補者の中から石井様をお願いする事としました。心よくお引き受け下さり感謝しております。

また、協賛広告掲載のお願いのため伺いました各支部の先輩の方々や、各企業、店舗等の皆様のご協力とご支援に感謝いたします。有難うございました。

大きなプレッシャーを感じつつ、この一年間共に活動し協力してくれた同級生の皆様にも、感謝の気持ちでいっぱいです。

最後になりますが、同窓生の皆様方には、沼津商業高等学校の伝

統の絆を未来へつなげていく様に、益々のご活躍を祈念いたします。そして、私達母校が、今後ますます発展するようお祈り申し上げます。

「沼商同窓会 明石海人の会」から

川口公文(高一八回)

平成二五年、沼商同窓会は「明石海人の会」を発足、在校生はじめ同窓生に向けて「明石海人」の生涯を知ってもらおうと活動を開始しています。

年間の活動は、五月の校内短歌コンクール作品の選歌会と表彰助成、六月は新入生を対象にした「明石海人講演会」を開講、同月九日は海人命日の墓参を継続事業として実施しています。

今年度は、「海人全集」(共編)や



書額解説板寄贈式

『歌人明石海人―海光のかなたへ』など海人に関する多くの著作を手がけられ、また各地での海人講演会講師もされ、我が国の明石海人研究の第一人者であります元日本大学短期大学部講師の岡野久代先生から、書額二扁をご寄贈いただきました。

ご揮毫は先生のご親族の榊原絹江先生によるもので、同先生は短詩系文学を通してかな書の美を求め、読売書法展に入選されるなど書家として著名な方です。

早速学校と相談し玄関正面と図書室中央の壁に掲示しました。沼商の宝として長く大切に保存しなくてはなりません。

額には題が付けられ、玄関は「いちめんの星」、図書室は「望郷歌」で、それぞれに九首と七首が書かれています。今後は、学校教職員はじめ生徒、来賓など多くの目に留まり、海人への思いを至して頂ければ幸いです。同窓生の皆さんも学校訪問の際にはどうぞご覧になってください。

また、今年の新入生対象の「明石海人講演会」の講師を岡野久代先生にお願いしたところ、快くお引受頂き開催することができました。来年度以降もお引受下さるよう重ねてお願いしています。

周知のとおり、明石海人(本名野田勝太郎)の生涯は、言葉では言い尽くせない壮絶なものでした。

大正十五年ハンセン病を発症し

た二五歳を期として家族・妻子とも離別させられ、人生が暗転した彼は一縷の光を求め明石や和歌山県粉川などで療養生活を送りますが病状は悪化、昭和六年十月原因不明の高熱から精神錯乱を起こします。同年十一月、明石楽生園の閉鎖により国立癩療養所長島愛生園(終焉の地)に移動、その療友らの献身的介護で回復、作歌に没頭、持てる才能が開花します。やがてその作品が「日本歌人」に掲載されるや高い評価を受け、昭和十一年には歌壇から将来を嘱望されることとなります。

昭和十四年二月には改造社より歌集「白描」を出版、二五万部という当時としては記録的なベストセラーとなりました。が、同年六月九日、三七歳を一期として壮絶なるその生涯を閉じました。

「かたわ我三十七年をながらへぬ」

三十七年の久しくもあり」

その後もその早世を悼む多くの歌人、文人らに絶賛され現代百歌人に選考されるなど高評価を受け、それは没後八十年を経た現代にも続いているのです。

今後は明石海人を顕彰するための文学展(不定期)や明石海人研究家を講師にお迎えした講演会なども企画できればと思います。

沼商同窓会会員の皆様には、今後とも絶大なるご支援ご協力を賜りますよう宜しくお願いいたします。

昨年度卒業生からのメッセージ

社会人としての自覚



澤登玲菜

(高六九回)

沼商を卒業してからは、半年以上が経過しました。私は今、沼津信用金庫に入庫し、毎日業務に励んでいます。

入庫してからは、毎日ハードな研修にとっても疲れしました。慣れない敬語や、立ち居振るまいに戸惑い、高校生の時にどれだけ甘えた生活をしてたのか思い知らされました。何回も高校生に戻りたいと思いましたが。しかし、私はもう社会人なのだから後ろばかり見ないで前だけを見て取り組もうと自分に言い聞かせました。社会人は何をすることも責任を持ってやらなければなりません。高校生の時は先生に注意をされて反抗的は気持ちになつた事もありました。社会人は注意される前に自分で直していかなければなりません。どれだけ恵まれた環境だったのか気付きました。

研修が終わらず支店に配属され、何もわからず毎日勉強の日々が続いています。実際に業務をしてい

く中で自分が沼商生で良かったと思うことがあります。

一つ目は検定への取り組みです。入庫してから取得しなくてはならない資格がたくさんありました。試験勉強がいくら辛くても沼商でやってきた事が自然と自分の自信になっていました。卒業するまではこんな資格を持つても意味が無いと思っていました。仕事の中でちゃんと生きていて努力してよかったと思いました。

二つ目は部活動です。毎日業務をしていく中で先輩や上司から教えていただくことばかりです。目上の人と関係を築いていく事を部活動では自然と学べていたんだと思います。社内の人だけでなくお客様とのコミュニケーションにも活かしていきたいと思っております。何かを努力すれば必ず自分の力になるんだと沼商で学びました。

半年経った今でもできない事は多いけれど毎日業務ができる環境にとっても感謝しています。

私が今、全力で仕事ができる充実した日々を過ごしているのは沼商の先生方のご指導と先輩方がつくり上げて下さった沼商の伝統によるものだと思います。私も沼商の卒業生として恥じないよう、これから精一杯頑張りたいと思います。先輩たちがつくり上げていくこれからの沼商も楽しみにしています。

社会人になって



瀬川美香

(高六九回)

「悩み」というのは、同じ境遇の者であるからこそ、共感し解決に導いていけるものだと、社会に出て知りました。

私が、沼津商業高等学校を卒業して半年以上経ちます。学生時代は毎日、友人と会い、休み時間や放課後は遊び、好きな部活動に一生懸命取り組んでいました。そんな日々を共に過ごすことが出来た友人は、今でもかけがえのない存在です。しかし、そんな友人にも仕事での悩みはあまり理解してもらえません。違う就職先に就くというのは、境遇、周りの人間、仕事内容も違い、共感し難いのだなと感じました。

今、私は医療機器全般を取り扱う専門商社の営業事務として日々、業務を行っています。慣れない電話応対や、営業への円滑なサポート。新しい事が増える度に責任が大きくなり、目の前の仕事に手一杯になります。さらには、学生時代と違い、社内に同じ境遇の者がおらず、悩みの解決というのが難しい状況でした。

そんな中、私の話にも共感し解決策を出してくれたのが、二度の

新入社員研修で知り合った他県配属の同期でした。十月に行われた研修の際、同じ境遇である同期と様々な事を話しました。日々の業務内容だけでなく、人間関係についても話しました。自分だけの悩みだと思っていたものが、同期にも同じような悩みを持っている者があり、少しホッとしました。自分一人だけが悩んでいるのではないと知ることができ、気持ち楽になりました。また、研修プログラムの中で、悩みを解決する為にどうしたらいいのかをテーマとしたグループディスカッションが行われました。その中で、自分で実行できるような解決策が生まれました。客観的に自分を見ることで、悩みに対する考え方が変わったのです。同じ境遇にある者同士が話し合えば、一人では思いつかないような考えや新しい解決策が見つかることを知りました。

私は、社会に出て、学生では経験できない多くの事を学びました。その中でも、今日のような同期の存在というのは特に大事ななと感じました。この先、自分と同じように悩んでる人を見つけたら、共感し解決する手伝いをしていきます。そのためにも、努力、経験をより多く重ねていきたいと思っています。



支部だより

定時制部会総会

部会長 久保田英夫（定九回）

平成二九年十一月二六日（日曜）三年に一度の定期総会を沼津キヤッスルにて、会員出席二三名の方が出席して下さいました。当日は御多忙の中、同窓会長宇佐美文男様、副会長川口公文様をお迎えする事が出来、同窓会長宇佐美様から本年四月から十月迄行われた同窓会の活動状況や在校生の活動報告等を受けました。又、三期六年沼商同窓会の副会長を勤めて



くれました大石平様（二七回）の後任に、加藤紘一様（一一回）に來年度より同窓会役員をお願いする事となりました。

又、これから三年間の定時制部会の役員をお知らせ致します。

これからも宜しく皆様御指導、御鞭撻の程お願い申し上げます。

役員名 敬称略

- 相談役 小池 忠雄（八回）
- 相談役 広瀬 忠男（九回）
- 監査役 谷口 輔郎（二回）
- 監査役 小林昭太郎（一一回）
- 部会長 久保田英夫（九回）
- 副部会長 加藤 紘一（一一回）
- 副部会長 畑中 勉（一五回）
- 副部会長 大野 直人（一八回）
- 副部会長 大石 平（二七回）

富士支部

沼商「ふじの会」活動状況

会長 坂本 實（高一一回）

平成十四年発足した当会は十五年の齢を重ねました。

同窓生は勿論母校、同窓会本部、関係各位のご支援ご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

さて本会の平成二九年度前半の行事も順調に実施され来年度の計画が話題になって来ました。

平成二九年四月二九日 昭和の日 第二四回富士山麓ブナ林創造事業に参加
参加会員及び家族 四五名



協賛 苗木五十本相当 五万円を協賛しました。

平成二九年六月四日 当会定時総会

母校、同窓会本部からのご臨席と立川文志師（高一一回卒）の講演を頂き百名を超す参加（講演は非会員に開放している）頂きました。会員有志による、かくし芸の披露も飛び出し盛会裏に楽しい一時を過ごすことが出来ました。来春開催をめざし親睦ゴルフを計画しています。

毎年開催の役員会は、会員の情報交換を中心に運営の円滑化を主たるテーマに活動を続けています。

御殿場支部

山口 龍彦（高一七回）

十二月一日支部同総会が市内、名鉄菜館にて行われ二十数名の同窓生が集まり体調を悪くされたと伺っていた方が元気に来られたり、久しぶりの方も居られたり、出席者は皆高齢者ばかり。それは我々支部から母校へ行く者がほとんどないという現実が有ります。しかし副校長金親先生より就職、進学部活と生徒皆さんが努力してくれている事を伺い喜んでいます。

筆者の思いは丸子町、努力したラグビー、昔の傷あとが今も残る足、自分の勲章と思ひ丸子町の瓦の載った校舎が目に見えなくて来ます。



杉本氏の講演

総会の前に二九年四月より危機管理課長となった杉本氏の話しを聴く時間を設け地震、富士山の噴火についての知識を得ることができました。氏は元自衛官、災害地へ行き、又国内の東日本地震・津波・熊本地震等の経験を写真や動



第十四回沼商裾野支部の総会が七月一日、来賓に高村裾野市長をはじめ前田沼商学校長、宇佐美同窓会長、長嶋副会長、鳥澤県議らをお迎えし開催いたしました。総会での事業報告では、地域貢

**裾野支部
現役沼商生を招いての演奏会**
支部長 杉本和男(高一五回)

画で見せて下さり親が子を助けることができなかった辛さ、自衛隊の活躍ぶり、風呂呂に入れた時の皆さんの嬉しそうな顔、手を振り感謝の気持ちを伝える被害者の人達、いつ起きるか解らない天災、我々同窓会での講演が最もしつかり聴いてくれたと氏の言葉です。

献事業の一環として津軽三味線日本一に輝いた現役沼商三年生(当時)藤池豊さんと所属する「民芸衆団奏鳴曲」を招き、演奏に、踊りに、唄によるコンサートを同窓生や市民を迎え開催の報告がされました。

**熱海支部
平成二九年度
熱海支部総会を行いました**
稲葉 最(高五七回)

平成二九年九月二八日(木)に、本部より宇佐美同窓会長、岩崎副会長、前田学校長ほか役員をお迎えし、伊豆山ハートピア熱海で支部総会を開催しました。支部役員、会員三十名が出席し、

裾野支部では、平成十八年から続けている地域貢献事業として、学校、福祉団体、スポーツ団体等に支援をしております。昨年は、文化事業として津軽三味線の演奏と唄、踊りのコンサートを広く市民に呼びかけたところ市民二百人が集まり、藤池豊さんらに、大きな拍手が会場に響わたり、同窓生や市民に感動を与えました。

【参考】
民芸衆団奏鳴曲(ソナタ)は、小中高校生や障害のある方々と、日本各地に伝承されている唄や踊りや尺八そして津軽三味線を学んでいる。

余興のビンゴゲームなどで大盛り上がり、親睦を深めました。また、役員改選では、支部長をはじめ全員が再選され、今後二年間活動を行っていくこととなりました。支部総会は発足後約四十年を迎え、今後、新たな企画を持って活動していきけるよう、役員会で準備を進めております。同窓会は、現在の沼商の学生の活躍を知ることができたり、先輩方から体験談を聞くことができる貴重な機会です。今後、更に若手の方々に参加をしていただき、盛り上げてもらいたいと思います。最後に、支部会員の皆様のおますのご活躍をお祈りしております。



**第十四回 沼商OB美術展
のお知らせ**

沼津市に定着してきた沼商OB美術展が第十四回展を迎えます。日頃の余暇を利用して制作した作品を一同に展示します。ジャンルは洋画・日本画・版画・写真・書道・工芸その他、スケッチブックに描いた作品集等、気楽に出品して下さい。特に在校生の参加を期待しています。絆を高め、さらなる発展のために多くの方の参加を希望しています。



第13回OB美術展記念写真

会期 平成三十年六月十四日(木) 二十日(水)
会場 静岡銀行 8F「四季」
連絡先 三宅 優
〒四一〇〇〇四九
沼津市江原町六一六
TEL〇九〇一五六〇四六二二三

第5回 生徒海外研修

期間 8月20日～24日
訪問国 台湾（台北市内）
研修生

- 二年生 勝間田未結
- 佐藤 来美
- 大坂 里優
- 三年生 長田茉莉佳
- 廉 麻結香
- 鈴木 咲
- 指導教員 前田喜久子（校長）



夏休み中に参加した台湾研修は、なかなかできない体験ができた濃い五日間でした。現地のガイドの方や大学生が台湾の街を案内してくださり、日本との違いや台

湾の歴史や文化を学ぶことができました。また、日本を外側から見ることでマナーの良さやサービスの質の高さを改めて感じました。

研修の中で一番印象に残っているのは、台湾の士林商業職業高校のみなさんと交流したことでした。日本語が通じず大変でしたが、士林の学生さん達が私たちのために学校を案内して下さいました。レクリエーションを行って距離を縮めようとして下さいました。お互いに身振り手振りで伝えようとして、自信がない英語を使ったりしました。失敗を恐れたりせずに相手に伝えるためにコミュニケーションを取ることが大切なのだと思います。同時に自分の英語能力の低さを実感したので、これからリスニングとスピーキングの勉強をとくに頑張りたいと思います。今回の研修で、積極的に行動したり異文化を知って受け入れようとする姿勢を身に付けることができました。これはグローバルな人材になるためにはかせないことです。私がした経験を多くの人に発信し、海外に興味をもってもらえたらうれしいです。外国へ行くのは初めはとても不安でしたが、今はもう一度行きたいと思うほど貴重な時間を過ごすことができました。ここで学んだことを今後の学生生活や自分の進路に生かしていきたいと思えます。

「沼商同窓会」 明石海人の会 主催の講演会

実施日 6月9日（金）
対象 一年生 二〇四名
講師 岡野久代先生

講演を聴いて

私は今まで、明石海人という人に興味はありましたが、調べたり歌集を読んだりすることができていませんでした。だから、今日講話を聞くことができ、あつという間の時間ではありましたがたくさんのお話を聞き、学ぶことができたとよかったです。白描の序文は特に最後の三行に感動しました。対比が使われている三フレーズはすごく美しいと感じました。そして天刑と天啓、同じ読みで全く違う、反対のことが表現されているところには大きな感動と驚きを感じました。他の歌や随筆も読んでみたいと思いました。岡野先生も編集をされた全集があるとのことだったので、すぐにでも図書館などで調べようと思います。できればまた、先生の講話を他のテーマでも聞きたいです。今日の講話ではその時代の沼商のことや様子も知ることができ、とても興味がありました。せっかく沼商に入

第17回明石海人賞

校内短歌コンクール

☆最優秀賞作品☆

砂浜と

新緑の松 続く道

遙か彼方に 雪解けの富士

一年 渡邊紗綾

表彰式 5月27日（土）



岡野先生ご寄贈書額贈呈式（紫旆祭開会式にて）

部活動紹介

バレー部

県高校総合体育大会(6月)

☆準優勝☆

私たちバレーボール部は、全国大会出場に向かって、日々の練習に励んできました。高校総体では、県決勝まで進出し、全校のみなさんの声援の中、試合をする事ができました。結果は、決勝戦で負けてしまい、県準優勝でしたが、みなさんの声援はコートまで届き、力に変えることができました。県準優勝という成績を収める事ができたのは、たくさんの方々の支えがあったからこそだと思います。指導して下さった先生、共に切磋琢磨してきたチームメイト、辛い時には話を聞いてくれた両親、友人など他にもたくさんの方々に支えてもらいました。とても感謝しています。

自分達の思い通りのプレーができません、悩んだことも多々ありました。しかし、練習、練習試合、合宿を通し、自分達のバレースタイルに自信をつけてきました。どんなに辛い練習でも、仲間と支え合い、常に部員全員で高校総体で果たすことのできなかった全国大会出場という目標に向かって日々努力しています。応援して下さいみなさん、本当にありがとうございます。

いました。今後も、応援よろしく
お願いします。

部長 小林真緒



卓球部

私たち卓球部は、団体戦・個人戦ともに県大会出場を目指して日々練習に取り組んでいます。卓球の大会は主に団体戦・個人戦を中心に毎月試合があります。団体戦では誰か一人が勝てばよいわけではなくチームが一丸となって戦わなくてはなりません。個人戦は負けたらそこで試合終了なので、一人一人目標を掲げ一つでも多くの試合に進むために日々努力をしています。私は一年生の頃から団体戦メンバーとして試合に出させてもらっていました。一つでも多くの試合に勝つために他校の練習会や夏の合宿、普段の練習も真

面目にこつこつと取り組むことができました。先輩方との団体戦は周りのプレッシャーなどもあり負けてしまうこともありましたが、先輩方が引退する最後のインターハイでは良い結果を残すことができました。私自身も九月に行われた個人戦で東海大会出場を決めることができました。このような結果は家族の応援やいつも卓球場に足を運んでくださるOBの先輩方、そして顧問の先生のおかげだと思います。

これからも卓球部員全員で県大会出場に向けて努力していきたいと思えます。そして日頃から応援してくださる周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに大会などに取り組みたいと思います。応援よろしくお願ひします。

部長 石田恵梨奈

女子バレー部

静岡県高校総合体育大会(6月)

準優勝 東海大会出場

東海高等学校 バレーボール

選抜大会出場(3月)

弓道部

静岡県高等学校新人弓道大会

女子団体5位 東海大会出場

卓球部

全日本卓球選手権大会

ジュニアの部静岡県予選

ベスト64 石田恵梨奈

東海卓球選手権大会

出場 石田恵梨奈

電算機部

全国高校情報処理競技県大会

団体の部 優勝(5連覇)

個人の部 優勝 後藤 優菜

同 3位 高津みらの

同 佳良 山崎 勇輝

同 佳良 佐藤 雅哉

第67回県商業科実務競技大会(9月)

団体入賞

情報処理Aの部 3位

情報処理Bの部 準優勝

英文ワープロの部 準優勝

個人入賞

英文ワープロの部

準優勝 阿部航太

佳良 鈴木皓士

山田優花

商業デザインの部

第三部門 金賞 森田風咲(3年)

審査員賞 八木沙織(2年)

城所 優(1年)

東海大会出場

団体 情報処理

英文ワープロ

個人 珠算 諏訪部翔太(2年)

簿記 宇土 亜美(3年)

第11回県商業研究発表大会(8月)

SANGI AWARD 2018

グラフィック&

デザインアートコンテスト

キャラクターデザイン部門

入選 森田 風咲(3年)

山本 知奈(3年)

事務局だより

今年も一九四名が 新会員に

平成三十年三月、男子卒業生六
五名、女子卒業生一二九名の一
四名が新会員として登録され、二
月二十八日に入会式を行いました。

平成二九年度決算報告

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰越金	2,195,469	会報発行費	1,882,089
年会費収入	2,262,000	支払手数料	102,780
入会費	1,940,000	印刷代	47,736
役員会費	656,000	名簿作成費	112,449
受取利息	8	総会費	40,966
		会議費	1,229,007
		事業費	153,462
		事務消耗品費	61,978
		通信費	131,957
		人件費	781,434
		記念品代	198,126
		助成金	260,000
		慶弔見舞金	292,400
		旅費	79,317
		備品費	147,000
		雑費	32,963
		次期繰越金	1,499,813
合計	7,053,477	合計	7,053,477

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度より繰越金	84,372,983	育英基金繰出	1,860,947
期間収益	216,835	次年度へ繰越	82,728,871
合計	84,589,818	合計	84,589,818
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
同窓会より奨学金	1,500,000	在校生に対する給付金	1,500,000
同窓会より研修費、他	1,000,000	修費	923,466
利	3	研進路指	31,500
		育英基金へ繰越	45,017
合計	2,500,003	合計	2,500,003
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度より繰越金	46,734,968	海外研修費	1,217,100
奨学金より返済金	1,806,826	外支	1,728
徳	184,004	修費	512
普通預金利息(入ル)	24	諸次年度への繰越金	47,519,154
普通預金利息(出)	2		
定期預金利息(JA)	670		
雑収入	12,000		
合計	48,738,494	合計	48,738,494

平成三十年度役員

- | | | | | | |
|------|--------------|------|---------------|-------------|--------------|
| 名誉顧問 | 大川 徳雄 (四九二回) | 顧問 | 大嶋 淑嗣 (四九二回) | 相談役 | 金親 徳行 (学校長) |
| | | | 水上 博道 (高六回) | | 藤本 泰三 (高八回) |
| | | | 小池 忠雄 (定高八回) | | 廣瀬 忠男 (定高九回) |
| | | | 宇佐美文男 (高一五回) | | 坂倉 安藤 (高一二回) |
| | | | | | 多嶋 洋一 (副校長) |
| | | | | | 市川 幸子 (教頭) |
| | | | | | 渡邊 広志 (事務長) |
| 会長 | 長嶋 繁雄 (高二一回) | 副会長 | 加藤 紘一 (定高一二回) | 副会長 | 杉山 勝 (高一五回) |
| | | | 諏訪部善枝 (高一五回) | | 岩崎 正幸 (高一六回) |
| | | | 川口 公文 (高一八回) | | 加藤 敏子 (高一八回) |
| | | | 佐野 友子 (高一九回) | | 古澤 隆 (高二〇回) |
| | | | 大庭 武 (高二一回) | | 中島 恵子 (高二二回) |
| | | | 芹沢 俊夫 (高二五回) | | 渡辺 芳枝 (高二五回) |
| | | | | | 田村 公子 (高二八回) |
| | | | | | 杉森 賢二 (高四七回) |
| 会計監事 | 鈴木 邦彦 (高二二回) | 事務局長 | 青島 和伸 (高二七回) | 六五回総会・懇親会幹事 | 藤江 康儀 (高二八回) |
| | | | | | 笹村美紀子 (高二三回) |

奉仕活動 富士山麓植樹作業 に参加して



岩崎 正幸 (高一六回)

柿田川の湧水を末永く守る為、富士山麓に植樹をと、清水町主催行事に参加する。

以前同窓会活動として参加した事があったが中断、創立百周年記念事業の一部として再開した。例年四月二十九日に実施されており、同窓会、学校関係、生徒達と多くの参加をいただく。

バスにて出発。目的地は、裾野市須山の「浅木塚国有林」徒歩四十分に到着する。

説明会のあと植樹作業を開始。植樹する苗木は重いのと遠方まで

運搬。この作業は野球部の生徒が一手に引受けてくれる。

一方で穴掘り、植樹、風対策の添木をして完成する。

この作業の繰り返しである。山麓では鹿の被害が多く、今まで植えた木も育っていない物も多く見られた。

その為、我々の班では植樹した廻りを網で囲う作業も行った。

正午過ぎ、すべての作業が終了し昼食となる。富士山の麓で、又青空の元での食事は格別であった。

参加していただいた校長、職員、生徒会、野球部、同窓会、総勢七十名は、当日参加の三分の一を占め非常に大きな戦力であり、主催者からも感謝の言葉がありました。

この植樹作業は例年、四月二十九日に実施されています。是非参加してみてください。

◇教員の移動がありました

転入者等

校長 金親 徳行 (前副校長)

副校長 田嶋 洋一 (富士宮北)

教頭 市川 幸子 (沼津東)

転出者等

校長 前田喜久子 (退職)

教頭 見城 喜哉 (藤枝北)

同窓会への連絡お問い合わせは……

電話・ファックス兼用

〇五五・九三二・五七四七

(土・日・祝日を除く月・金の午前十一時～午後三時まで)